

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

3月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。

2020.5.5 No.85



特集

若手農業者
×
市議会

MENU

- 特集……………P 2
- 高校生との意見交換会……………P 4
- こんなことを審査・調査しました…P 8
- こんなことを聞きました……………P13
- Future……………P22



自分が納得できる仕事ができ きた時に充実感があります



JAなすの青年部黒磯本部とは

旧黒磯市管内の5支部の若手農家を中心の組織。これからの農業の担い手として地域農業の振興に取り組む一方、JA役員との意見交換や事業運営にも参画し、青年農業者の立場から新しいJA運動を探求し実践している。

令和2年度盟友人数：111名

<青年部としての活動目標は？>

◆若手農家の交流が少ないので、親睦を深めながら切磋琢磨し、成長していける場を作ることです。

また、黒磯青年部独自の活動として、旧黒磯市内の小学校と協力し、児童に農作業や農作物に関する絵を描いてもらい、食育の大看板を作成する看板事業があります。その活動の中で青年部と児童が交流することで、農業に興味を持ってもらい、さらに農業という職業を選んでもらえたら嬉しいです。完成した看板は、JAなすの東那須野支店に1年間設置しています。

<農業をやっていて良かったと思うことは？>

◆お米の場合は最後に収穫して製品として出荷した時にほっとするし充実感もあります。また、努力して作った野菜が高く売れた時が嬉しいです。

◆牛が健康に育ち、たくさん搾乳できた時が嬉しいです。

◆自分の思った通りに作物ができ、計画通りにことが進んだ時は達成感があります。

<今後青年部でチャレンジしてみたいことは？>

◆農業祭でマルシェをやりたいと思っています。



議員はどうしても遠いイメージ

<那須塩原市の農業の強みは？>

◆多品種の作物ができることや、「なすひかり」など米の食味ランキングで毎年特Aを取る高品質なお米ができることです。酪農においては、本市は生乳生産額本州1位です。那須という地域も首都圏に対して強いブランド力を発揮していると思います。

<近年の気候変動はやはり大変ですか？>

◆ゲリラ豪雨や台風などによる水害には悩まされます。

◆水稻農家にとっては春の水不足がきついですね。今年も雪が降っていないので、水不足になると思

います。

◆酪農では、牛は元々オランダの寒い地域の動物なので、6月から11月くらいまで暑さが続く近年の気候では、牛も夏バテしてしまいます。

<これから就農したいと思っている人にメッセージがあればお願いします>

◆若い人たちに就農してもらいたいという気持ちはあります。農業にはわからないことや悩みもありますが、一緒に勉強していく仲間が多いので、挑戦してもらいたいです。

◆たとえば、行政が空き家バンク

のように、離農した農家の情報を保有し、新規就農者に土地ごと貸す「離農バンク」のようなものを作ってもらえると思う。新規就農者に対して、ハード面は行政がサポートし、ソフト面では我々青年部などがサポートしていければ良いと思います。

<議員に対する印象は？>

◆同じ世代の方が多いし柔らかい雰囲気を作っていただけたので、話しやすかったです。

第14回 議会報告会 - 高校生との意見交換会2020 -

高校生との意見交換会2020は、高校生に議会への関心をもってもらい、議員を身近に感じてもらうことを目的として、市内に4校ある全ての県立高等学校の生徒を対象にして実施しました。その一部をご紹介します。詳細は市議会ホームページをご覧ください。



那須清峰高等学校 参加人数 39人

意見

- 車いすの方でも開けるように引違い戸を増やす
- 災害に強いまちにしたい
- 地域行事に積極的に参加する
- 自分たちが住むまちの特産を活かして商品を作る
- 商業施設を建てて観光客を増やす
- 気軽に行こうと思えるような行事やイベントを作る
- 地元で働けるように企業誘致
- 今以上にIT企業が発達したまち



黒磯南高等学校 参加人数 34人

意見

- 過疎化が進んでいるので、子どもを産んだ人の社会保障を充実させる
- 自分たちの住む地域で就職
- 起業を応援（ひきこもりが就かせるため）
- 包括的なサードプレイス作り
- 空き家を活用し、商店街を場所も作る



参加人数 34人

出生率を高くする
障を充実させる
する
ちな人に特化した職業に
り
復活させて、多世帯の居



参加者アンケート結果 (抜粋)

回答者数：152名 回収率：100%

問 実施した意見交換会2020についての評価とその理由は

項目	回答数	割合	
とても良かった	96	63%	○市長と議会の関係を知ることができた ○普段あまりしない話や選挙の大切さを知ることができたから ○議会の方とたくさん話し合えて、いい経験になったから
良かった	54	36%	
どちらでもない	2	1%	
あまり良くなかった	0	0%	
良くなかった	0	0%	
その他	0	0%	

問 今回の意見交換会や主権者教育を受けてみて、市議会や選挙について関心が持てたか

項目	回答数	割合
関心を持てた	137	91%
関心は持てなかった	3	2%
どちらともいえない	11	7%
その他	0	0%

問 18歳になったら選挙(投票)へ行こうと思うか、またその理由は

項目	回答数	割合	
必ず行く	86	57%	○自分の将来に関わることだから ○選挙の大切さが分かったから ○投票をして社会を変えたい ○一票が重要なものになると知ったから
行こうと思う	61	46%	
どちらともいえない	4	3%	
多分行かない	1	1%	
全く行かない	0	0%	
その他	0	0%	

問 市議会へご意見

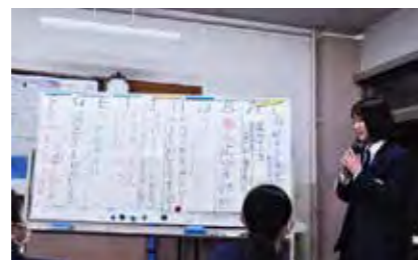
- これからもこのような活動を続けて欲しい
- これからも市の発展のために最善を尽くして欲しい
- 私たちに必要な知識を教えてください、尊重して頂けて良かったです
- 那須塩原市民のために今後もお願いします
- 今回の意見を是非実行して頂きたいです

共通テーマ 私たちが住むまちに、私たちが将来できること

那須拓陽高等学校 参加人数 44人

意見

- 生物の多様化を目指すために環境保全を行いたい
- 信号のない横断歩道で必ず車がとまるまち
- 高齢者がもっと活躍できる機会や施設をつくりたい
- 視覚障害者やお年寄りがもっと住みやすい街になるために講習会を行いたい
- 交通機関を発達(充実)させて、住みやすい地域にしたい
- 一人一人の将来の夢実現に向けて交流の場を増やしたい



黒磯高等学校 参加人数 35人

意見

- 学生が楽しめるような施設(ショッピングモールなど)
- 那須塩原駅周辺のお店を増
- 他県と交流し自分たちの良いところも学ぶ
- 家族連れに優しくあるため、アフリーで高齢者に優しい
- 若い人が集まるイベントを
- 地域企業と若者が共同で特



を作る(ショッピングモールなど)
やす
さを伝えると同時に他県の
子どもが喜ぶ場所、バリ
場所を作る
行う(音楽フェスなど)
産品などを開発する



令和2年度の税金の使い道が決まりました

令和2年度の事務事業推進のキーワードは、「持続可能なまちづくり」。本市ならではの豊かな地域資源や強みを生かした施策を推進し、令和にふさわしいまちづくりを図ります。この予算について、議会で審査した内容と事業の一部について紹介します。

一般会計、特別会計、企業会計の9会計における予算について審査を行いました。

皆さんに納めていただく税金の使い道について慎重に審査した結果、9会計すべて原案のとおり可決しました。一般会計予算は、令和元年度と比べて4.4%の増、特別会計予算は、0.2%の増となっています。

令和2年度予算

一般会計	495億円
特別会計	234億8,983万円
企業会計	
収益的支出	52億78万円
資本的支出	38億7,423万円

総務費



那須塩原駅

- 新庁舎整備の基本設計、ワークショップ開催
1億1,589万円
- 那須塩原駅周辺まちづくりビジョンを策定など
2,036万円
- 那須ブラーゼンの活動を支援します
300万円



市内を走るゆ〜バス

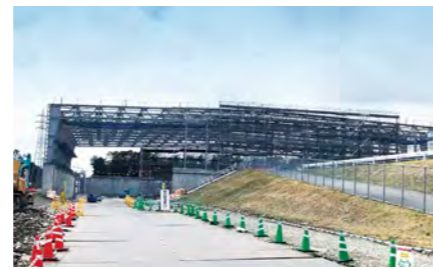
- ゆ〜バス・ゆ〜タク運行費
1億5,065万円
- 防犯対策を強化します
811万円
- 結婚についてサポートします
182万円

民生費 衛生費



子育て応援券

- 子育て環境の充実のために放課後児童クラブを整備します
1億811万円
- 子育て応援券を発行します
1,980万円
- 敬老祝金や記念品贈呈の費用
4,384万円



建設中の第2期一般廃棄物最終処分場

- 新しい一般廃棄物最終処分場を作る費用
24億9,205万円
- がん検診にかかる費用
1億9,505万円
- 生活習慣病を予防するための対策です
1,538万円



牛舎の様子

- 鳥獣被害対策実施隊が活躍します
2,026万円
- アグリパル塩原・青木ふるさと物産センター管理運営など
2,419万円
- 牛乳等により地域活性化を目指します
310万円



那須野巻祭り

- まちなか交流センターの管理運営費
3,825万円
- 観光誘客促進などの費用
9,360万円
- 農観商工連携推進するための費用
1,226万円

農林水産業費 商工費



幅員が狭い路切

- 防災・安全交付金事業で道路を整備します
4億2,937万円
- 道路の維持管理にかかる費用
5億6,534万円
- 危険ブロックや塀の改修を補助します
400万円



建設中の新南下中野線の橋

- 市内の公園を整備します
9,922万円
- 市営住宅を改修します
3,590万円
- 道の駅を便利にします
1,717万円

土木費



那須塩原市図書館（みるる）

- 図書館管理運営や備品などを購入します
3億2,995万円
- 国民体育大会の宣伝や準備などの費用
9,758万円
- スクールバス運行に係る費用
7,065万円



消防車

- 那須地区消防組合の本市の負担金
17億3,148万円
- 消防団員の活動費用など
1億7,187万円
- 消防施設の充実を強化します
1億1,589万円

教育費 消防費

こんなことを審査・調査しました

総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など
【委員】◎佐藤一則○星野健二、平山武、大野恭男、櫻田貴久、伊藤豊美、齋藤寿一、金子哲也、中村芳隆

子育て相談センターの年末年始の休館日が変わります

問 年末年始の休館日を改正した理由は。

答 市役所全体の年末年始の休日は、12月29日から1月3日である。公民館なども既に休館日を12月29日から1月3日に変更しており、当該センターも今回の組織機構改革に伴い改正を行うものである。

市職員の時間外勤務の上限が決まりました

問 時間外勤務の上限設定について規則で定めるとのことだが、規定を超えて勤務をした場合の取り扱いについて伺う。

答 時間外勤務を行った場合、全ての時間外勤務手当を支給しないと違法になるので、超えた場合も支給する考えである。

市の財産が有効に活用されます

問 那須塩原市は、現在どれくらいの資産を所有しているのか。

答 土地や建物、現金及び基金などを含め約2,800億円である。



子育て相談センター(いきいきふれあいセンター2階)

福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
【委員】◎齊藤誠之○中里康寛、益子丈弘、田村正宏、松田寛人、眞壁俊郎、高久好一、相馬義一、山本はるひ

国民健康保険財政調整基金条例が改正されます

問 今回の改正で変更された点は。

答 これまで基金の用途は国民健康保険事業費の納付金などに限定されていたが、今後は国への償還金や、大規模な災害が起きた時にも基金を使えるよう改正する。

放課後児童クラブ整備計画がバージョンアップしました

問 本計画の策定の目的は。

答 現在、一時利用も含めるとほとんどの放課後児童クラブが定員を上回っている。そのような課題を解決する目的で本計画を策定する。

問 計画を策定する過程で空き教室を使用し整備する学校区があるが、その他の学校区の調査は行ったのか。また、利用者の増減など実情に応じた整備の前倒しもあり得るのか。

答 他の学校区についても調査を行った。整備については基本的に計画どおり行うが、状況に応じては前倒しの可能性もある。

教育施設の長寿命化を図ります

問 計画で目標耐用年数の設定を80年とした根拠は。

答 日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方」を参考とし、事前に施設の保全や改修等を行うことで、最大年数の80年を採用した。



長寿命化計画対象の教育施設

建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など
【委員】◎星宏子○山形紀弘、小島耕一、森本彰伸、相馬剛、鈴木伸彦、玉野宏、吉成伸一

太陽光発電事業が地域との調和を求められることになります

問 『那須塩原市再生可能エネルギー発電設備の設置等に関するガイドライン』が平成30年4月から施行されているが、今回の条例との違いは。

答 ガイドラインと条例の違いは、許可制を導入するところである。そのほか、禁止区域の指定も条例を制定することによって可能となる。

気候変動に対応するために基金を新設します

問 この基金を取り崩して事業に充てるとした場合に、どういう事業が想定されるのか。また、基金額は、どの程度予定しているのか。

答 4月に設置される気候変動対策局が、対応する事業を検討する。また、基金の原資は、ふるさと納税を予定しているため、基金額は、現時点では想定ができない。

アグリパル塩原がリニューアルされました

問 アグリパル塩原の施設の改修工事に伴い、使用料を変更するとのことだが、その算出方法は。

答 使用料の総額を各施設の面積で按分した、1㎡あたりの単価7,333円に、各施設の面積を掛けて使用料を算出した。併せて、光熱水費は、指定管理者が直接支払う方法に変更した。



アグリパル塩原のジェラート販売コーナー

予算常任委員会

【委員】◎佐藤一則 ○齊藤誠之 ○星宏子、その他全議員

問 那須ブルーゼン活動事業費を300万円とした根拠は。

答 ウェアの前面と背面に那須塩原市の名前を入れるのに210万円、自転車教室などへの選手派遣に1回あたり3万円、10回で30万円、市のイベントの選手派遣に20回で60万円の合計300万円である。

問 来年度の結婚支援予算について効果の見込みは。

答 とちぎ結婚センターが7月1日以降は本庁舎5階から那須塩原市図書館へ移設し、土日も開設されるので利用申し込みが増える見込みである。

問 観光施設使用料で、シェアサイクルの使用料315万円の積算根拠と設置場所について伺う。

答 シェアサイクル全体の使用料は、自転車25台、稼働日数180日、1台あたりの使用料1,000円で積算し、市の収入は、その7割を見込んでいる。シェアサイクルの設置場所は、市内8か所でJRの駅や道の駅などを想定している。

問 那須塩原市図書館備品2,200万円と、那須塩原市図書館用図書1,600万円の詳細を伺う。

答 庁用器具費、備品については、会議室の椅子や机の他、図書館で使うブックトラックやブックポスト、アート関係の展示用備品を予定している。図書購入費は、これまで指定管理費の予算に含まれていたが、新設した那須塩原市図書館は市役所の直営になるため、新たに図書を購入し蔵書を増やすための予算である。

議案の審査結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
同意第 1号	那須塩原市教育長の任命について	同意
同意第 2号	那須塩原市固定資産評価審査委員の選任について	同意
同意第 3号	那須塩原市教育委員会委員の任命について	同意
議案第 1号	令和元年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）	可決
議案第 2号	令和元年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第 3号	令和元年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第 4号	令和元年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第 5号	令和元年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第 6号	令和元年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第 7号	令和元年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第 8号	令和元年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第 9号	令和元年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第10号	令和2年度那須塩原市一般会計予算	可決
議案第11号	令和2年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算	可決
議案第12号	令和2年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第13号	令和2年度那須塩原市介護保険特別会計予算	可決
議案第14号	令和2年度那須塩原市温泉事業特別会計予算	可決
議案第15号	令和2年度那須塩原市墓地事業特別会計予算	可決
議案第16号	令和2年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計予算	可決
議案第17号	令和2年度那須塩原市水道事業会計予算	可決
議案第18号	令和2年度那須塩原市下水道事業会計予算	可決
議案第19号	那須塩原市太陽光発電事業と地域との調和に関する条例の制定について	可決
議案第20号	那須塩原市気候変動対策基金条例の制定について	可決
議案第21号	那須塩原市自転車の安全な利用の促進に関する条例の制定について	可決
議案第22号	組織機構改革に伴う関係条例の整備について	可決
議案第23号	那須塩原市印鑑条例の一部改正について	可決
議案第24号	那須塩原市職員定数条例の一部改正について	可決
議案第25号	那須塩原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決
議案第26号	那須塩原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決
議案第27号	那須塩原市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	可決
議案第28号	那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
議案第29号	那須塩原市手数料条例の一部改正について	可決
議案第30号	那須塩原市国民健康保険財政調整基金条例の一部改正について	可決
議案第31号	那須塩原市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決
議案第32号	那須塩原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	可決
議案第33号	那須塩原市地域資源総合管理施設条例の一部改正について	可決
議案第34号	那須塩原市板室健康のゆグリーングリーン条例の一部改正について	可決
議案第35号	那須塩原市屋外広告物条例の一部改正について	可決
議案第36号	那須塩原市営住宅条例の一部改正について	可決
議案第37号	那須塩原市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	可決
議案第38号	那須塩原市図書館条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決
議案第39号	那須塩原市交通指導員設置条例の廃止について	可決
議案第40号	契約の変更について	可決
議案第41号	公の施設の区域外設置に関する協議について	可決
議案第42号	公の施設の区域外設置に関する協議について	可決
議案第43号	公有財産の有効活用に関する基本方針について	可決
議案第44号	那須塩原市気候変動適応計画について	可決
議案第45号	第2期那須塩原市子ども・子育て未来プランについて	可決
議案第46号	第2期那須塩原市保育園整備計画について	可決
議案第47号	第2期那須塩原市放課後児童クラブ整備計画について	可決
議案第48号	那須塩原市道路舗装修繕基本計画について	可決
議案第49号	那須塩原市教育施設長寿命化計画について	可決
議案第50号	令和元年度那須塩原市一般会計補正予算（第8号）	可決
議案第51号	契約の変更について	可決
議案第52号	財産の取得について	可決
承認第 1号	専決処分の承認を求めることについて〔指定管理者の指定〕	承認
発議第 1号	那須塩原市議会会議規則の一部改正について	可決
発議第 2号	那須塩原市議会委員会条例の一部改正について	可決
発議第 3号	那須塩原市議会取組実行計画について	可決



那須塩原クラブ
相馬 剛議員



令和2年度市政運営方針と主要事業について

問 令和2年度の政策や主な事業について、市民生活と将来に与える影響を考慮しているか。

答 市長 グリーンボンドは、環境保全のための全国で例のないプロジェクトで、資金調達手段である。気候変動適応計画は、温暖化による農畜産物への影響や、災害対策のインフラ整備に対応するため、宇都宮大学と連携して取り組む。国土強靱化地域計画は、大規模な自然災害に耐える行政機能と地域社会、経済を構築する。健康ポイント事業では、健康診査やがん検診、ウォーキングを実施し、1日8,000歩以上の場合にポイントを付与し参加者の健康増進を図る。主要道路4路線の整備は、令和4年から最長令和7年度までに完了する予定である。動画配信事業は、「なすしおばらチャンネル」として紙媒体以外にソーシャルメディアで動画配信を行う。

令和2年度当初予算編成について

問 令和2年度一般会計当初予算のキーワード「持続可能なまちづくり」について、行政運営と財源配分効率化の取り組みについて伺う。

答 市長 歳入で市税の減については、法人税率の引き下げによる法人市民税の減少が理由である。財政調整基金繰入金を減とするのは、国庫支出金や市税の財源確保の結果である。

答 総務部長 財政調整基金53億円は、27億円程度が理想であると考えているが、中長期財政の見通しでは、令和7年度に28億円になる予定である。



公明クラブ
田村 正宏議員



新型コロナウイルスの対策について

問 公衆衛生上の緊急事態を想定した部局横断的な組織体制を構築する考えは。

答 市長 感染予防および拡大防止を目的に、2月4日、市長を本部長とし、部局長を本部員とする新型コロナウイルス感染症対策本部を設置した。

問 公衆衛生上の緊急事態を想定したマニュアルなどを作成する考えは。

答 市長 各部局の役割分担はじめ、イベント開催や公共施設などの貸館に関する基準、保育園や小中学校における対応マニュアルなどは作成したが、今後状況に応じて更新していきたい。

市長の掲げる「持続可能なまちづくり」について

問 国土強靱化地域計画策定に伴う補助事業の優先順位は。

答 総務部長 人命の保護に関わる事業を最優先に考えている。

問 再来年開催予定の全国障害者スポーツ大会におけるポッチャの競技会場である、にしなすの運動公園体育館のバリアフリー化を進める考えは。

答 教育部長 現状では仮設での対応を予定している。

問 昨年10月からスタートした幼児教育の無償化による本市財政に与える影響は。

答 子ども未来部長 令和2年度予算の算出では、3,000～4,000万円程度の負担軽減を見込んでいる。





志絆の会
眞壁 俊郎議員



令和2年度当初予算編成について

問事業推進のキーワード「持続可能なまちづくり」の理由と事業内容は。

答市長 本市の特徴である自然や歴史、文化財などの資源を生かした地域性や、新幹線駅がある優位性を生かした取り組みで、市独自の価値観を高め、付加価値を生み出し続けることが必要であることから、このキーワードとした。また、全ての事業において、前例にとらわれることなく、予算編成方針に基づく見直しを行った。具体的には、会計年度任用職員の業務量などを考慮した配置の見直し、OA機器の更新期間の延長による経費削減により財源を生み出した。

再生可能エネルギー利用について

問本市は、水力、太陽光、バイオマス、地熱、風力など、再生可能エネルギーとなる電源のポテンシャルが非常に高い地域となっている。これからの市長の考えは。

答市長 再生可能エネルギーの地産地消は、温室効果ガスの削減のみならず、地域における経済の循環にも影響を及ぼす。複数の事業者からエネルギーの地産地消について提案を受けている状況であり、今後、積極的に推進していきたい。また、災害時の電力確保において有効であると考えられることから、事業の実施にあたっては、安定供給できる送電網の維持も視野に入れて検討を進めていきたい。

市政一般質問



佐藤 一則議員



気候変動に対する具体的な対策は

問地球温暖化対策実行計画の推進について現状と課題は。

答市長 市から排出される温室効果ガスの量は、平成25年度を基準に、令和2年度に15%、令和12年度に26%削減を目標としている。平成29年度の排出量の推計値は、CO2換算で90万1,000tで、基準年度の110万1,000tと比較して18%削減され、目標の15%を超えている。昨年12月にCO2排出量ゼロ宣言をしたが、課題は、実現に向けた具体的な取り組みである。

問次世代自動車、低公害車普及促進の現状と課題は。

答市長 平成27年度に道の駅明治の森・黒磯をはじめ、市内4カ所に急速充電器を整備した。平成30年度から電気自動車購入に対し補助制度を創設し、令和2年1月末現在、31件の実績がある。課題は、補助制度や燃料供給施設の確保である。

問エネルギー地産地消促進の現状と課題は。

答市長 市内の小水力発電箇所は合計8箇所、出力合計1,744kw、10kw以上の太陽光発電は1,746件で出力合計16万7,789kwである。課題は、再生可能エネルギーの地産地消が地域経済の循環にも役立つことから、仕組みをどのように構築していくかである。

問省エネ機器、高効率機器等の普及推進について現状と課題は。

答市長 防犯灯のLED化などに取り組んでおり令和2年度までの目標9,000灯に対し平成30年度で8,768灯である。課題は、市民や事業者の省エネについての意識の向上を図り、より一層の普及を進めていくことである。



山本 はるひ議員



持続可能とは「付加価値を高めていくこと」

問市政運営方針の市長の考えと、それをどのように職員に伝えているのか。

答市長 「持続可能なまちづくり」をコンセプトに、付加価値を生み出すことができる事業かどうかポイントである。職員はSNSの投稿を読んだり、議会の答弁も聞いていると思うので、職員に向けてもアピールしている。

太陽光発電事業は持続可能なまちづくりの手段

問2018年に「再生可能エネルギー発電設備の設置等に関するガイドライン」を策定している。今回、「太陽光発電事業と地域との調和に関する条例」の制定に至った経緯は。また、持続可能なまちづくり推進の観点から太陽光発電事業についての考え方は。

答市長 太陽光発電事業は市の持続可能性の付加価値を高める手段の一つで、エネルギーの地産地消という側面もあり、重要だと考えている。太陽光発電は、化石燃料の発電よりは、持続可能性があると思うが、それに反発する部分があると思う。その一つがブリヂストン黒磯工場跡地だと思っている。メガソーラーを作って東京に電力を送れば良いということは、持続可能性にはつながらないと思っている。太陽光発電事業を行う場合、利益追求ではなく、法令を遵守すると同時に、環境や景観に配慮して欲しい。そして、地元との良好な関係を築き、地域に根差した事業として実施することが、持続可能なまちづくりにつながると思っている。



小島 耕一議員



那須塩原駅周辺まちづくりビジョンの策定について

問ブリヂストン黒磯工場跡地の有効活用について、大田原市とどのように協力して取り組むのか。

答市長 近隣自治体である大田原市にも影響があるという理由で、NTTファシリティーズ本社に出向く予定である。

問NTTファシリティーズが計画した太陽光パネルの売電収入は大きいと聞いている。那須塩原駅周辺まちづくりビジョン有識者会議でもスーパーシティなどの提案が出されている。スーパーシティと太陽光パネルの両方可可能な計画づくりができれば、相互に利益があるが、市の考えは。

答市長 建物を造り太陽光発電を置くなどを考えると、残された時間は少ないと思う。できる限り最良の策を練る必要があると思っている。

自治会活性化の支援について

問自治会長への謝礼の積算根拠は。

答企画部長 基本額が5万4,000円、加算額が1戸当たり750円である。

問自主防災組織や高齢者の見守りなどは、自治会長のリーダーシップで行っている。自治会の規模が異なる中、基本額が同じで良いのかと感じている。ポイント制度などを導入する考えは。

答企画部長 現段階では難しい。





益子 丈弘議員



地球環境に配慮したまちづくりの機運醸成について

問宇都宮大学など研究機関との連携内容は。
答市長 宇都宮大学の各研究室では、気候変動や持続可能性をテーマに研究している。品種改良や気候変動の測定などの連携が期待できる。
答生活環境部長 宇都宮大学は、水稻の品種改良について、国立大学で初となる研究成果がある。農業分野のほか、将来予測や適応策を考えている。
問バイオマス産業都市に取り組む考えは。
答市長 本市特有の資源であり、発電資源として活用できる点も期待している。那須地区のほか、先進地との情報交換や連携を検討していきたい。

遊休農地などを活用した地域活性化による広域連携について

問遊休農地再生の補助事業が国は終了している。仮に県が終了した場合の対策は。
答産業観光部長 遊休農地の解消は、農地の借り手を確保し、農地を再生する上で非常に重要である。国の制度は変わるが今後も制度の継続を要望し、県の動向も引き続き注視していきたい。
問集積の進みやすいところ、そうでないところの対応はどのようにするのか。
答産業観光部長 地域の課題はそれぞれの地域で、まず検討してもらい、市は、地域の話し合いの中で解決策を見出せるよう支援を行いたい。
答農業委員会事務局長 中山間地域の補助が小さいところなどに入れるような環境整備をしていく必要があり、下限面積を50aから10aに下げるような方向で検討している。



山形 紀弘議員



本市の中小零細企業について

問中小零細企業に対する新たな取り組みは。
答市長 令和2年度から、制度融資の小規模企業支援資金は、融資利率の0.1%引き下げ、創業者支援資金は、融資利率の0.2%引き下げをそれぞれ予定している。中小零細企業創業者などの負担軽減と利便性の向上を図っていききたい。
問新型コロナウイルスの影響によって中小零細企業は資金繰りが大変である。市税、軽自動車税の納付を暫定的に延長できないか。
答市長 法律の定める範囲で柔軟に対応できるよう検討していきたい。
問利用者を増やすため、起業創業のチャレンジショップ事業を見直す考えは。
答産業観光部長 来年度から制度を見直し、開業時の初期費用に対し、一定額を補助する予定である。

本市の防犯について

問地域防犯カメラ設置補助事業を見直す考えは。
答生活環境部長 自治会などの意見を聞きながら、使いやすい制度となるよう検討する。
問来場者の多い公共施設において、防犯マニュアルの作成や、防犯訓練を実施する考えは。
答総務部長 防犯マニュアルの作成や防犯訓練は、現在市役所や、各支所では行っていない。しかし、近年全国の自治体の庁舎で暴力事件や放火事件が相次いでおり、防犯対策の必要性は痛感している。今後防犯マニュアルの作成や防犯訓練の実施について、検討していきたい。



森本 彰伸議員



健康問題から見える子どもたちの悩み

問健康診断は、健康状態を確認し、その後の健康指導を行うことが目的だが、いじめ、虐待、心の病などの兆候を見つける目的はあるか。
答教育長 学校で行われている健康診断は、子どもたちが学校生活を送るに当たり、健康面で支障があるかという点と学校として健康課題を把握し、どういったことに注意して取り組むかという、2つが主な目的である。背景にある、いじめ、虐待、心の悩みなどが、何らかの形で表れているものに気づくきっかけになると思っている。

災害時の避難所運営と平時の備え

問避難所として、学校の場合には面積がかなり広く、収容人数も多いが、各学校で1日分の備蓄品はあるのか。
答総務部長 各小中学校は、収容人数、面積に応じて計画しているが、拠点備蓄倉庫などから物資を運ぶことを想定している。
問自治会、自主防災組織などと連携はできているか。
答総務部長 自治会、自主防災組織の皆さんには、防災訓練に参加してもらい、一緒に訓練を行うことで情報交換などを行っている。特に、自主防災組織の皆さんは、毎年補助金の交付申請で市役所に来ており、組織の事業計画などを確認する中で、情報交換を行っている。



鈴木 伸彦議員



ひきこもり対策について

問40代、50代になったひきこもりの人が、高齢化した家族とともに追い詰められ、社会的に孤立している深刻な事態が全国で相次いでいるが、本市の取り組みは。
答保健福祉部長 深刻な内容のひきこもり相談も受けており、今後増加が予想されることから重要な課題であると認識している。専門的な知識、経験を積んだ相談員を中心とした支援体制について検討をしていきたい。
問個別にある窓口相談対応をワンストップ窓口で行う考えはあるか。
答保健福祉部長 今後検討していきたい。

企業誘致について

問那須高林産業団地の問合せ状況は。
答市長 今年度当初から2月末までの問合せ件数は45件である。
問大田原市などと広域で連携し企業誘致を行う考えは。
答市長 本市を含む那須地区は、立地企業の雇用確保や道路などの周辺環境の整備で綿密な関係にあり、今後はさらなる連携も視野に入れ企業立地に取り組む。
問企業誘致の展望について
答市長 那須高林産業団地の分譲を促進するとともに、新たな産業団地開発も検討していく。





星野 健二議員



就職氷河期世代への支援について

問 就職氷河期世代が抱える課題をどのように認識しているのか。

答 市長 不本意ながら不安定な仕事に就き、賃金水準が低い人や、就職がうまくいかなかったことなどから就職活動を断念し、ニートとなっている人がいることなどが問題である。

問 これまで就職氷河期世代の支援に、どのように取り組んできたのか。

答 市長 現時点で市は、就職氷河期世代に特化した支援は行っていない。とちぎ県北若者サポートステーションでは、働くことに悩みを抱えている15歳から39歳までの人に、個別相談、職場体験プログラムなどを実施し、就労に向けた支援を行ってきた。

問 今後、どのように支援をしていくのか。

答 市長 ハローワークに専門窓口を設置し、より多くの対象者をハローワークへ誘導できるよう、広報誌などでの周知を行う。また、市内の企業に対して就労体験、就労訓練の積極的な受入れ協力について検討していく。

問 就職氷河期世代の人を市の正職員として採用する考えはあるか。

答 市長 来年度以降における職員採用の方針や方法などについて、具体的に決定していない。今後、国などの動向を注視しつつ、受験資格を検討し、多様な職員を幅広く採用したい。



金子 哲也議員



黒磯地区と西那須野地区を比較して

問 合併後、施設の建設は青木サッカー場、9億2,000万円、くろいそ運動場野球場8億6,000万円、テニスコート6億円、体育館2億円、ホースガーデン4,000万円、まちなか交流センター8億6,000万円、那須塩原市図書館に24億6,000万円。全部黒磯地区である。偏り過ぎてはいないか。

答 教育部長 とちぎ国体の会場となるくろいそ運動場、青木サッカー場の整備を中心に行っている。

答 建設部長 黒磯駅周辺再生整備計画で、活性化に取り組んでいる。西那須野地区は以前に整備している。

問 黒磯地区では146の自治会が存在する。戸数20以下の自治会が12自治会ある。再編成して50程度にできないか。

答 企画部長 自治会は、自主防災の活動や、地域の見守りなどで活動が難しくなっている。自治会の維持向上を図る視点で、真剣に進めていきたい。

問 市全体で盛り上げる、市民一体のまつりが必要ではないか。烏ヶ森の頂上には「武士の矢並つくらふ籠手の上に霰たばしる那須の篠原」という源実朝の歌碑が建っている。巻狩まつりを西那須野地区にある烏ヶ森公園から始めることができないか。

答 市長 那須塩原駅周辺まちづくり有識者会議でも、合併したまちは、まつりが非常に重要で、那須塩原発のまつりが必要ではないか、という意見があった。共通の踊りやまつりがあってもよいので、一体感を醸成させる方法として検討したい。



烏ヶ森の源実朝の（巻狩）の歌碑



高久 好一議員



本市の出生率と子育て支援について

問 国の地方創生が行き詰まり、東京一極集中と人口減少が進む中、出生率はどうなっているか。

答 市長 本市における平成29年度の合計特殊出生率は国や県より高い1.52となっている。

問 合併後、本市と連携する各市町の人口増減の推移はどのようになっているか。

答 市長 2010年～15年の推移では、本市が666人の減、大田原市が2,272人の減、那須町が1,836人の減、那珂川町が1,482人の減となっている。

問 宇都宮市は、希望出生率という指標を提示しているが、本市に子どもを増やす指標はあるのか。

答 市長 本市では、基本施策において、保育所入園待ち児童ゼロや子育てに対する満足度70%を目標にしており、これが子どもを増やす指標となるものと考えている。

健康検診について

問 本市のがん検診の状況と県内における他市町との比較はどのようになっているか。

答 保健福祉部長 29年度の胃がん検診は28.3%で県内8位、肺がんは36.2%で10位、大腸がんは37.6%で9位、子宮頸がんは44.3%で4位、乳がんは48.9%で5位となっている。

問 本市のがん検診の受診率は、高く維持されてきたが、3年間で少しずつ受診率が下がっている。新たな取り組みの予定は。

答 保健福祉部長 受診率を向上させるため、健康ポイント付与と、がん検診の申し込みをインターネットで申し込む方法を検討していきたい。



中里 康寛議員



小中学生の防災教育について

問 本市の小中学生における防災教育の考え方と現在の取り組みは。

答 教育長 各小中学校において、自分の安全を自分で守る児童生徒の育成を目指し、学校活動の中で総合的に実施をしている。さらに、大山地区においては、地域内の連携を図った避難訓練として、小学校とコミュニティの共催による「大山地区合同避難訓練」が実施されている。

問 本市の小中学生における防災教育の方向性と課題は。

答 教育長 地域の特性や児童生徒の実情に応じて安全教育を推進していくことが必要であり、地域の防災力を高めるために、地域と学校が連携しながら、防災教育に取り組むことも重要である。課題は、発達段階に応じ、児童生徒が主体となって、地域と連携した防災教育をいかに展開していくかである。

サテライトオフィスの誘致活動について

問 サテライトオフィス誘致事業支援業務の内容を伺う。

答 市長 令和2年度当初予算に約483万円を計上した。内容は、パンフレット作成のほか、企業に対してアンケート調査やサテライトオフィスに関する空き店舗、空き家の調査などで、誘致活動に必要な調査業務を委託する。

問 サテライトオフィス誘致の実施プランの作成時期は。

答 産業観光部長 調査業務の完了を令和2年度に予定しているため、令和3年度に作成予定である。



行政視察を行いました

◆ 議会運営委員会

視察先

- ①神奈川県横須賀市
- ②東京都町田市



◆ 議会活性化特別委員会

視察先

- ①兵庫県丹波篠山市
- ②京都府京都市
- ③滋賀県大津市
- ④神奈川県厚木市



◆ 広聴広報特別委員会

視察先

- ①石川県金沢市
- ②新潟県上越市
- ③東京都多摩市
- ④神奈川県相模原市
- ⑤愛知県新城市



星 宏子議員



所管を横断した小中一貫教育と子育て施策を

問 発達支援システムや小中一貫教育などに共通した教育テーマを掲げ、子育て・福祉・教育に携わる課を「ワンチーム」でつくる考えはあるか。

答 教育長 来年度から小中高にかけてキャリアパスポートを持たせて、12年間で自分の学び、キャリア形成に向けて高校3年生まで学ぶ取り組みが、全国で行われる。本市の発達支援システムと考え方が似ている。発達支援システムは、子どもが成長していく部分を幼児期から義務教育、高校、大学、社会人まで、一貫して支援する画期的なシステムである。また、小中一貫教育は、義務教育9年間で完成ではなく、高校への接続もしっかりと考えていくもので、さらに大きな視点で本市の教育の在り方を捉えていくことが大切である。

災害対策、防災対策について

問 自主防災組織による地区防災計画策定を推進する考えは。

答 市長 モデル地区を1地区選定し、県からとちぎ地域防災アドバイザーの派遣を受け、地区防災計画の策定を支援していきたい。

問 氾濫発生の危険性が高い河川に河道掘削による洪水対策として、整備基金を設置し計画的に整備をする考えはあるか。

答 建設部長 過去に西那須野地区総合排水対策基金条例に基づき、市が管理する河川の土砂撤去も含めた整備を実施した経緯がある。規模が大きくなる場合は、多額の費用を要するため、財源を確保する基金については、一つの方法である。

櫻田 貴久議員



観光行政について

問 2019年の観光客入り込み数および宿泊者数は。
答 市長 881万1,708人で、前年同期比で6.4%の減、宿泊者数は92万5,621人で2.2%の減となっている。

問 2019年の取り組みをどのように分析しているか。

答 市長 観光プロモーションに取り組んできたが、観光客入り込み数及び宿泊者数ともに減少となっている。減少の原因は9月の台風や10月の消費税引き上げなど外的要因が大きく影響したと分析をしている。一方で、食の取り組みを継続したことにより、宿泊施設の口コミ評価が上昇し、満足度が向上している。

問 観光地の課題は。

答 市長 塩原温泉は、温泉資源を活用した医療ツーリズムの本格的な実施に向け、モニターツーリズムに引き続き取り組む。先日、台湾医師会が塩原温泉に視察に来たが、受入れ体制を構築すれば、インバウンド需要を見込めると感じている。板室温泉は、古くから下野の薬湯として魅了してきたことから、現代のライフスタイルに合った「新・湯治」の動きと連動した取り組みを行っていく。具体的には、ネイチャーツアーなどの自然体験、ペットツーリズム、アート369など、周辺の地域資源を楽しみながら滞在することで、心身ともにリフレッシュできる地区として誘客に取り組んでいきたい。

齊藤 誠之議員



若者の力を生かしたまちづくり

問 若者の力を本市としてどのように捉えているか。

答 市長 若者が地域活動に参加することで、新たな価値の創出や地域課題の解決に向けた活力になると捉えている。さらに若者が地域活動の必要性を理解することで、地域への愛着心が生まれ、将来的には若者の定住促進につながる持続可能なまちづくりが可能になると考えている。

本市の教育のさらなる躍進について

問 本市で独自に採用している教員の人数と配置基準は。

答 教育長 本市の市採用教師は、小学校で132名、中学校で46名の合計178名がいる。配置基準は、毎年度、各学校から配置を希望する調書を提出してもらい、その調書を教育委員会で精査し、優先順位をつけて配置をしている。

問 地域学校協働本部の進捗状況は。

答 教育長 今年度6中学校区で本部事業が立ち上がっており、いずれも順調である。令和2年度は新たに黒磯中学校区と厚崎中学校区が設立に入り、既に準備の会議が開かれている。特に黒磯中学校区は、コミュニティ組織がない地域の特色がある中で、学区内の自治会長全員が準備会議に参加してくれている。今後2年ごとに19の自治会長が、交代で構成員となって協力することになった。さらに黒磯中学校区ならではのさまざまな社会教育団体のメンバーが参加する形で、特色ある地域学校協働本部がスタートする準備が整ったと聞いている。



Future

～わたしの夢～ No.11

西那須野中学校 2年

こしぐち ひかり 越口 緋夏梨さん

ピアノを活かした仕事に就きたい

中 学校1年生の時、同級生の友達が合奏コンクールでピアノをカッコよく弾いている姿を見て、自分も上手にピアノが弾けたらいいなと思いピアノを始めました。ピアノを習っていて楽しい時は、レッスンで教えてもらって弾けなかった曲が、練習して弾けるようになった時です。好きな曲はベートーヴェンの第九「喜びの歌」です。J-POPも好きだから聴きます。尊敬する人は、ピアニスト・作曲家の辻井伸行さんです。

将来の夢は、マンガの絵を描くことが好きなのでイラストレーターか、子どもが好きなのでピアノを活かして子どもにたくさん囲まれるような保育士さんになりたいです。那須塩原市の好きなスポットは、大山参道の紅葉です。



ぎかいのひととき

No.85

那須塩原市議会だより
令和2年5月5日発行

議会暦

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2	3	4	5	6
					本会議 開会	
7	8	9	10	11	12	13
	本会議 会派代表質問 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 議案質疑	
14	15	16	17	18	19	20
	常任委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会		
21	22	23	24	25	26	27
			常任委員会 議員全員協議会	本会議 閉会		

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴は御遠慮ください。なお、本会議は、インターネット中継を御覧ください。

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。

本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。

議会からのお知らせ

◆ 音訳版議会だよりを発行しています

市議会では、音訳ボランティアの皆さんの協力を得て、目の不自由な人のために音訳版議会だよりを発行しています。詳しくは議会事務局までご連絡ください。

◆ 6月は議場コンサートを行いません

新型コロナウイルス感染症の流行により、例年6月定例会で開催している議場コンサートは延期することとなりました。コンサート開催時期などの情報は、決まり次第市議会ホームページや議会だよりでお知らせします。

編集後記

希望を持ってスタートするはずの新年度が、新型コロナウイルス感染症の影響で大変に暗いスタートになってしまいました。このたびの感染症に罹患された皆さまと感染拡大により生活に影響を受けられた皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。東京2020オリンピック・パラリンピックの延期やイベントやお祭りの開催中止、不要不急の外出の自粛など暗いニュースばかりで気持ちが落ち込みぎみになってしまいますが、一日も早くこの事態が終息し、平穏な生活を取り戻せるよう委員一同心から願っております。(星野健二)